

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成30年11月9日

**【四半期会計期間】** 第70期第2四半期(自平成30年7月1日至平成30年9月30日)

**【会社名】** 株式会社フジマック

**【英訳名】** FUJIMAK CORPORATION

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 熊谷 光治

**【本店の所在の場所】** 東京都港区新橋五丁目14番5号

**【電話番号】** 03 - 3434 - 7791

**【事務連絡者氏名】** 管理本部長兼経理部長 佐藤 学

**【最寄りの連絡場所】** 東京都港区新橋五丁目14番5号

**【電話番号】** 03 - 3434 - 7791

**【事務連絡者氏名】** 管理本部長兼経理部長 佐藤 学

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第69期 第2四半期 連結累計期間	第70期 第2四半期 連結累計期間	第69期
会計期間	自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日	自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日	自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日
売上高 (千円)	17,244,340	17,708,486	38,565,503
経常利益 (千円)	1,210,170	1,132,302	2,783,229
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	840,499	754,434	1,965,157
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	1,033,454	762,860	2,155,161
純資産額 (千円)	15,894,116	17,516,358	17,015,715
総資産額 (千円)	33,220,979	33,749,082	35,414,482
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	64.13	57.56	149.94
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)			
自己資本比率 (%)	47.8	51.9	48.0
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,455,597	1,146,557	2,295,667
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	835,449	404,659	858,848
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	22,305	642,935	389,903
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	8,481,864	9,005,939	8,912,140

回次	第69期 第2四半期 連結会計期間	第70期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成29年7月1日 至 平成29年9月30日	自 平成30年7月1日 至 平成30年9月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	48.15	39.86

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 平成30年10月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。第69期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益を算定しております。
5. 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況は存在していません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用情勢の改善、企業収益の回復を背景とした設備投資の増加により、緩やかな景気回復基調が継続しました。

世界経済は、米国では景気は着実に回復が続き、中国では景気の持ち直しの動きが続いておりますが、引き続き米国の通商政策や金融資本市場の変動などが企業収益に大きな影響を与えかねず、今後の世界経済情勢、動向には依然として不透明感が拭えない状況です。

このような環境下、当社グループは、あらゆる業種・業態のお客様の様々なニーズ、ご要望に、迅速且つ的確にお応えべく、生産、物流、設計、施工、営業、サービスの一貫体制を一層強化してまいりました。

こうしたことから、当第2四半期連結累計期間の売上高は177億8百万円（前年同期比2.7%増）となりました。利益面につきましては、経常利益は11億3千2百万円（前年同期比6.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億5千4百万円（前年同期比10.2%減）となりました。

当第2四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は、現預金・棚卸資産の増加、売上債権・有形固定資産の減少等の結果、前連結会計年度末比16億6千5百万円減の337億4千9百万円となりました。負債につきましては、仕入債務・長期借入金の減少等により、前連結会計年度末比21億6千6百万円減の162億3千2百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末比5億円増の175億1千6百万円となりました。

なお、当社及び連結子会社の事業は、業務用厨房機器の製造・販売及び保守修理であり、単一のセグメントであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ9千3百万円増加し、90億5百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は11億4千6百万円（前年同期は14億5千5百万円の獲得）となりました。

これは主に、売上債権の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は4億4百万円（前年同期は8億3千5百万円の使用）となりました。

これは主に、定期預金の預入によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は6億4千2百万円（前年同期は2千2百万円の獲得）となりました。

これは主に、長期借入金の返済によるものであります。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、5千1百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(6) 従業員数

当第2四半期連結累計期間において、連結会社又は提出会社の従業員数に著しい増減はありません。

(7) 生産、受注及び販売の実績

当第2四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売の実績に著しい変動はありません。

(8) 主要な設備

当第2四半期連結累計期間において、主要な設備の著しい変動及び主要な設備の前連結会計年度末における計画に著しい変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	25,000,000
計	25,000,000

(注) 平成30年8月9日開催の取締役会決議により、平成30年10月1日付で株式分割に伴う定款変更が行われ、発行可能株式総数は25,000,000株増加し、50,000,000株となっております。

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成30年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成30年11月9日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	7,136,000	14,272,000	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数100株
計	7,136,000	14,272,000		

(注) 平成30年8月9日開催の取締役会決議により、平成30年10月1日付で普通株式1株を普通株式2株に株式分割いたしました。

これにより株式数は7,136,000株増加し、発行済株式総数は14,272,000株となっております。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成30年7月1日～ 平成30年9月30日		7,136,000		1,471,150		1,148,365

(注) 平成30年10月1日付で普通株式1株を普通株式2株に株式分割し、発行済株式総数が7,136,000株増加しております。

(5) 【大株主の状況】

平成30年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 (自己株式を 除く。)の 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社ノヴァックス	東京都港区高輪1丁目27-37	2,238	34.16
熊谷俊範	東京都品川区	522	7.98
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR: FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND (常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行)	245 SUMMER STREET BOSTON, MA 02210 U.S.A. (東京都千代田区丸の内2丁目7-1)	410	6.26
フジマック従業員持株会	東京都港区新橋5丁目14-5	393	6.01
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1丁目1-2	215	3.28
熊谷俊茂	東京都目黒区	212	3.24
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区大手町1丁目5-5	190	2.90
常盤ステンレス工業株式会社	大阪府大阪市平野区加美北4丁目6-56	128	1.96
株式会社テーオーシー	東京都品川区西五反田7丁目22-17	86	1.31
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OMO2 505002 (常任代理人 株式会社みずほ銀行)	100 KING STREET WEST, SUITE 3500, PO BOX 23 TORONTO, ONTARIO M5X 1A9 CANADA (東京都港区港南2丁目15-1品川イン ターシティA棟)	78	1.20
計	-	4,475	68.29

- (注) 1. 上記のほか当社所有の自己株式582千株があります。
2. 平成30年6月22日付で公衆の縦覧に供されている大量保有報告書の変更報告書において、エフエムアールエルエルシー(FMR LLC)が平成30年6月15日現在で以下の株式を所有している旨が記載されているものの、当社として当第2四半期会計期間末現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。
- なお、その大量保有報告書の変更報告書の内容は以下のとおりであります。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (千株)	株券等保有割合 (%)
エフエムアール エルエル シー(FMR LLC)	245 Summer Street, Boston, Massachusetts 02210, USA	453	6.35

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成30年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 582,800		
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,551,000	65,510	
単元未満株式	普通株式 2,200		一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	7,136,000		
総株主の議決権		65,510	

【自己株式等】

平成30年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社フジマック	東京都港区新橋 五丁目14番5号	582,800		582,800	8.17
計		582,800		582,800	8.17

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成30年7月1日から平成30年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成30年4月1日から平成30年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	9,276,113	9,588,120
受取手形及び売掛金	9,000,969	6,685,403
商品及び製品	2,879,914	3,354,426
仕掛品	124,071	87,657
原材料及び貯蔵品	1,137,201	1,149,853
その他	554,887	555,833
貸倒引当金	7,894	3,748
流動資産合計	22,965,263	21,417,547
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	5,468,745	5,419,771
減価償却累計額	2,366,705	2,392,125
建物及び構築物（純額）	3,102,040	3,027,645
機械装置及び運搬具	4,056,519	4,107,524
減価償却累計額	2,965,030	3,094,364
機械装置及び運搬具（純額）	1,091,488	1,013,160
土地	4,023,389	4,042,408
その他	1,778,231	1,872,469
減価償却累計額	1,521,020	1,542,613
その他（純額）	257,210	329,856
有形固定資産合計	8,474,128	8,413,070
無形固定資産	284,644	253,260
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	1,996,786	1,968,794
その他	1,792,068	1,796,624
貸倒引当金	98,408	100,216
投資その他の資産合計	3,690,445	3,665,202
固定資産合計	12,449,219	12,331,534
資産合計	35,414,482	33,749,082

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	10,032,100	8,551,805
1年内返済予定の長期借入金	691,904	593,452
未払法人税等	490,371	242,537
賞与引当金	560,557	449,401
役員賞与引当金	45,048	27,278
製品保証引当金	86,600	84,600
その他	1,369,648	1,343,491
流動負債合計	13,276,230	11,292,566
<b>固定負債</b>		
社債	1,000,000	1,000,000
長期借入金	2,690,306	2,410,576
退職給付に係る負債	109,808	106,334
その他	1,322,422	1,423,247
固定負債合計	5,122,536	4,940,157
負債合計	18,398,767	16,232,724
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,471,150	1,471,150
資本剰余金	1,148,365	1,148,365
利益剰余金	12,043,198	12,535,505
自己株式	441,821	441,910
株主資本合計	14,220,893	14,713,110
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	918,475	916,486
土地再評価差額金	1,727,010	1,727,010
為替換算調整勘定	149,336	159,751
その他の包括利益累計額合計	2,794,822	2,803,247
純資産合計	17,015,715	17,516,358
負債純資産合計	35,414,482	33,749,082

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	17,244,340	17,708,486
売上原価	11,265,831	11,750,690
売上総利益	5,978,508	5,957,796
販売費及び一般管理費	4,838,236	4,933,011
営業利益	1,140,271	1,024,784
営業外収益		
受取利息	2,095	8,321
受取配当金	15,931	18,074
受取手数料	10,908	7,440
受取賃貸料	18,845	24,752
為替差益	24,421	67,063
その他	24,427	11,462
営業外収益合計	96,628	137,115
営業外費用		
支払利息	19,336	17,797
その他	7,394	11,800
営業外費用合計	26,730	29,597
経常利益	1,210,170	1,132,302
特別利益		
固定資産売却益	398	1,348
その他	53	0
特別利益合計	452	1,348
特別損失		
固定資産除却損	740	21,609
固定資産売却損	4,261	-
投資有価証券評価損	0	21,610
特別損失合計	5,002	43,219
税金等調整前四半期純利益	1,205,619	1,090,430
法人税、住民税及び事業税	307,221	236,291
法人税等調整額	57,899	99,704
法人税等合計	365,120	335,995
四半期純利益	840,499	754,434
親会社株主に帰属する四半期純利益	840,499	754,434

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	840,499	754,434
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	150,977	1,989
為替換算調整勘定	41,977	10,414
その他の包括利益合計	192,954	8,425
四半期包括利益	1,033,454	762,860
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,033,454	762,860
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,205,619	1,090,430
減価償却費	301,113	317,679
受取利息及び受取配当金	18,026	26,396
支払利息	19,336	17,797
固定資産除売却損益(は益)	4,603	20,261
売上債権の増減額(は増加)	1,118,275	2,463,264
たな卸資産の増減額(は増加)	664,877	445,018
仕入債務の増減額(は減少)	29,008	1,574,763
その他	237,908	242,536
小計	1,757,144	1,620,718
利息及び配当金の受取額	13,899	20,841
利息の支払額	20,387	17,260
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	295,058	477,742
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,455,597	1,146,557
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	264,874	550,413
定期預金の払戻による収入	29,770	351,764
有形固定資産の取得による支出	377,912	195,772
無形固定資産の取得による支出	169,511	720
投資有価証券の取得による支出	21,632	3,480
非連結子会社に対する貸付けによる支出	-	7,000
非連結子会社に対する貸付けの回収による収入	700	15,990
貸付金の回収による収入	420	428
その他	32,409	15,455
投資活動によるキャッシュ・フロー	835,449	404,659
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	600,000	-
長期借入金の返済による支出	413,672	380,717
自己株式の取得による支出	188	89
配当金の支払額	163,833	262,128
財務活動によるキャッシュ・フロー	22,305	642,935
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,469	10,032
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	644,922	88,931
現金及び現金同等物の期首残高	7,836,941	8,912,140
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	4,867
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,481,864	9,005,939

【注記事項】

(追加情報)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形及び債務のファクタリングの会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、当第2四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形及び債務のファクタリングを満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
受取手形	136,204千円	46,471千円
支払手形及び買掛金	1,016,624 "	973,946 "
その他(設備関係支払手形)	3,299 "	744 "

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
給与手当	2,010,896千円	1,936,312千円
貸倒引当金繰入額	1,461 "	"
賞与引当金繰入額	306,507 "	365,662 "
役員賞与引当金繰入額	23,630 "	25,177 "
退職給付費用	122,432 "	121,416 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
現金及び預金	9,078,402千円	9,588,120千円
預入期間が3か月を超える定期預金	596,538 "	582,181 "
現金及び現金同等物	8,481,864千円	9,005,939千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年6月29日 定時株主総会	普通株式	163,833	25	平成29年3月31日	平成29年6月30日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成30年6月28日 定時株主総会	普通株式	262,128	40	平成30年3月31日	平成30年6月29日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

当社及び連結子会社の事業は、業務用厨房機器の製造・販売及び保守修理であり、単一のセグメントであるため記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

当社及び連結子会社の事業は、業務用厨房機器の製造・販売及び保守修理であり、単一のセグメントであるため記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
1株当たり四半期純利益	64円13銭	57円56銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	840,499	754,434
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に 帰属する四半期純利益(千円)	840,499	754,434
普通株式の期中平均株式数(株)	13,106,608	13,106,396

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 当社は、平成30年10月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成30年11月7日

株式会社フジマック

取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 小 野 英 樹 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 渡 辺 雅 子 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フジマックの平成30年4月1日から平成31年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成30年7月1日から平成30年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成30年4月1日から平成30年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フジマック及び連結子会社の平成30年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。